

注目の記事

「We Push for Peace」は、従来のLPプログラムにユニークなひねりを加えています

2025年3月18日



「私たちは、私たちが奉仕するコミュニティに、私たちが彼らのためにここにいることを示し、協力することの重要性を理解しようとしています。私たちは、単に利益を上げるビジネスではなく、コミュニティパートナーとしてここにあります。」



テッド・ファンチャー
III, LPC

これが「We Push for Peace」プロジェクトの背後にあるメッセージであり、Whole Foods Marketの資産保護および安全部門ディレクターであるLPCのTed Fancher III氏が非

常に情熱を注いでいるものです。「ミネアポリスを拠点とする非営利団体として、このプログラムは、ジョージ・フロイド事件とそれに続くコミュニティの不安を受けて、暴力介入イニシアチブとして始まりました」と彼は言います。「しかし、従業員、お客様、コミュニティの支援を受けながらプログラムを微調整し続けるうちに、予想をはるかに超える進化を遂げました」

このプログラムは、暴力介入イニシアチブにとどまらず、地元の警察署の支援を受けて毎年行われる七面鳥のドライブ、学生に何百ものバックパックと栄養価の高い食事を提供した新学期イベント、ホリデーシーズン中の家族のスポンサーシップなどのイベントで、コミュニティの関与に重点を置いています。

- デジタルパートナー -

店舗では、このプログラムは、問題を抱えた都市部でのLPの課題を管理し、サービスを提供する地域とのより良い関係を確立するためのコミュニティの力に焦点を当てることを目指しています。

「これらの場所で従来の警備サービスを利用するのではなく、お客様が入店したときにお客様を歓迎するストアグリーターを使用するプログラムがあります」とFancher氏は説明します。「私たちは、その特定の地域に住む人々やプレーヤーを知っている個人を雇っています。これにより、移行が容易になり、快適な交流ができます。個々の場所に関連するニーズとリスクに応じて、店舗全体、特に問題のあるエリアでお客様を歩き回って支援するローテーターも設置することもあります。」

ユニークなひねり

ただし、プログラムは、プログラムに独自のひねりを加える追加のステップを踏みます。

「これらの重要な役割のために、私たちは運が悪かったかもしれない人々、つまり仕事を見つけるのに苦労した人々を採用しています。しかし、彼らの可能性を示し、プラスの影響を与える機会に値する人々です」と彼は続けます。「それは、過去に間違いを犯した人やトラブルを抱えた人かもしれません。もしかしたら、18歳のときに後悔するような些細なことをしてしまったのかもしれませんが、この10～15年間、就職に苦労したのかもしれませんが。「We Push for Peace」は、彼らを私たちの店舗で働くように雇用し、訓練する



ことで、彼らが必要とする機会を提供することができます。自分自身を証明し、有意義な仕事を見つけ、家族を支える生活を送る機会です。」

Fancher氏は、このプログラムが成功しただけでなく、店舗の文化に前向きなメッセージを追加していると考えています。「人は間違った判断をすることがありますが、間違いから学ぶ能力は非常に高いです。彼らにはセカンドチャンスが与えられるべきであり、それをどう生かすかは彼ら次第です。私たちがコミュニティを支援し、人々をより良い方向に導くことができる方法は何でも良いことであり、人々はそれに応えています。」

従業員は、プロアクティブなLPの原則、カスタマーサービスの概念、およびエスカレーション解除のテクニックについてトレーニングを受けています。彼らは前向きな交流を持ち、すべての顧客に敬意を示すことが奨励されています。これは、顧客が店舗に入るときにリダイレクトし、目的をよりよく理解することを目的としたコミュニティベースの戦略です。

創造的思考

「これらのコミュニティの警察官は手薄すぎます。小売業は、変化する社会に効果的に対処するために、創造的な方法で進化し続ける必要があります」とファンチャー氏は言います。「それが素晴らしいところです。これらの従業員はコミュニティと人々を知っています。問題が発生する前に介入する機会を与えてくれます。」

「We Push for Peace」イニシアチブは、2020年にミネアポリスの3店舗で始まり、全米の市場で20以上の店舗にサービスを提供するまでに成長し、来年にはさらに多くの店舗が参加する予定です。

「これはWin-Winのパートナーシップであり、私たちにとって大きなリソースです。当社の従業員はそれを愛しています。彼らは、私たちが創造的なアプローチを取っていることを好みます。彼らは、このプログラムの目的と私たちが発信しているメッセージを信じており、それがこれらのコミュニティに多大な利益をもたらしています。これまでに達成したことに非常に興奮しており、前進するにつれてそれが何をもたらすかを楽しみにしています。」

- デジタルパートナー -

LP Magazineは、損失防止および資産保護業界の陰の英雄を表彰しています。現在進行中のコラムでは、コミュニティや周囲の世界をより良い場所にするために、それ以上のことをしている人々に焦点を当てます。個人であれチームであれ、時間やお金を寄付したり、他の人に喜びをもたらしたりと、私たちは「ありがとう」と言い、読者にあなたのことをもっと知ってもらいたいと思っています。個人またはLPチーム全体を推薦するには、losspreventionmagazine.com/something-good のフォームに記入してください。